理研・高橋さんら、視覚障害者就職手助け

2016年02月01日

ツイート おすすめ 94 G+1 0 B! 0

視覚障害者への理解を訴える高橋リーダー(左)と三宅代表理事(神戸市で)

目の難病患者に対し、iPS細胞(人工多能性幹細胞)を利用した世界初の臨床研究を進める理化学研究所の高橋政代・プロジェクトリーダーは31日、神戸市内で記者会見し、視覚障害者の活躍の場を広げる「isee!(アイシー)運動」を2月1日から始めると発表した。再生医療と並行しながら、視覚障害者の社会復帰や就労を支援する。

運動は、高橋リーダーが理事を務める公益社団法人「NEXT VISION」(代表理事=三宅養三・名古屋大名誉教授)が行う。この日の会見で、高橋リーダーは「目が見えなくなると働けなくなるというイメージの変革が必要だ」と運動の意義を強調。視覚障害者の生活改善を促す「ロービジョン(低視力)ケア」の必要性を周知するほか、社会復帰を促すアイデアを募るコンテストなども開催するとした。

同法人は、来年秋にも神戸市に開設される国内初の目の難病治療拠点「神戸アイセンター

東京新聞
TOKYO SHIMBUN
(東京)
'16.2.-1
夕刊

視覚障害者の雇用拡大し活躍の場を

理研の高橋さんら運動

人工多能性幹細胞(iPS細胞)から作った網膜細胞の移植手術を世界で初めて実施した理化学研究所の高橋政代プロジェクトリーダーらが一日、視覚障害者の実情を発信し、雇用の拡大や活躍の場を広げようと「isee!運動」をスタートさせた。理事を務める公益社団法人「NEXT VISION」(神戸市)の取り組み。

同法人によると、国内の視覚障害者は約百六十四万人。企業などの支援があれば働ける人が多いのに、実際には雇用率が低く、経済損失は年間八兆八千億円に上るとされる。社会を支える存在になってもらうため、情報発信などを通じて雇用の拡大を目指す。

毎日新聞
MAINICHI SHIMBUN
(大阪)
'16.2.-1

「視覚障害者の雇用を」

理研・高橋さん支援運動

「isee!運動」について語る理化学研究所プロジェクトリーダーの高橋政代さん=神戸市中央区の臨床研究情報センターで31日

iPS細胞(人工多能性幹細胞)による目の難病治療に取り組む理化学研究所の高橋政代プロジェクトリーダー(54)は31日、視覚障害者が活躍できる社会を目指す「isee!(アイシー)運動」を2月に始めると発表した。視覚障害を巡る現状について広く情報発信し、雇用拡大などを狙う。

高橋氏が設立発起人で理事を務める公益社団法人「NEXT VISION(ネクストビジョン)」(神戸市、代表理事・三宅養三名古屋大名誉教授)が運動を担う。主な内容は、視覚障害者と医療関係者が話し合う「患者サロン」▽就労支援の研究▽障害に関する企業との共同研究▽啓発アニメの作製▽障害者の就労事例を集めたコンテスト――などを予定している。

神戸市内で記者会見した高橋氏らによると、失明や弱視など国内の視覚障害者は約164万人。働ける人は多いが、雇用率は低く、視覚障害による経済損失は年間8兆8000億円に上るとされる。高橋氏は「視覚障害者のイメージを変え、社会に溶け込んでいけるような運動をしていきたい」と話した。

神戸市中央区のポートアイランドに2017年秋、目に関する最先端の研究や治療、リハビリ、就労支援などに対応する施設「神戸アイセンター(仮称)」が完成し、iPS細胞による網膜再生医療などの拠点にもなる予定。この運動を担うネクストビジョンもセンターに拠点を置く。

【畠山哲郎、写真も】

日本経済新聞
NIHON KEIZAI SHIMBUN
(東京)
'16.2.-1

視覚障害者の雇用

支援運動立ち上げ

理研・高橋氏ら

目の難病の患者に対しiPS細胞を使った世界初の臨床研究を実施した理化学研究所の高橋政代プロジェクトリーダーらは、視覚障害者の社会参加を支援する運動を2月1日から始めると発表した。企業や社会への情報発信などを通じて、視覚障害者の雇用機会の拡大を目指す。

名称は「isee!(アイシー)運動」。高橋氏が立ち上げた視覚障害者の就労などを支援する公益社団法人「ネクストビジョン」(神戸市)が主体となって進める。

一口に視覚障害といっても、見え方は人によって大きく違う。インターネットで実際の見え方や生活・就労能力について解説するほか、視覚障害者が社会で活躍する実例の発表の場を設ける。

来年秋には、神戸市に目の治療や研究、社会復帰支援などを総合的に担う「神戸アイセンター(仮称)」が設立される。ここを拠点として、リハビリや補助機器の訓練などの取り組みを一体化して進めるという。

高橋氏は「視覚障害による社会的な損失は8兆8000億円に達する。働くための配慮を企業が理解すれば、雇用はずいぶん生まれる」と話している。

ニュース > 地域 > 【神戸】視覚障害者の就労支援　新プロジェクト立ち上げ

【神戸】視覚障害者の就労支援　新プロジェクト立ち上げ

01月31日 18:15

ABC NEWS

医師や研究者らが企業と協力し視覚障害者の働き方について情報発信を行うためのプロジェクトがあすからスタートします。

【神戸】視覚障害者の就労支援　新プロジェクト立ち上げ

(ABC NEWS 関西ニュース)

このプロジェクトは、ｉＰＳ細胞を使った移植手術に世界で初めて成功した理化学研究所の高橋政代リーダーが発起人となり、視覚障害者の就労支援などに取り組むものです。ｉＰＳ細胞の活用など目に関する医療が進歩する一方、視覚障害のレベルにあわせた働き方について、企業の理解は低く、他の障害と比べて雇用率が低いとされています。高橋さんは、「視覚障害の人だからでき